

極東ロシアビジネスフォーラム 2010

2010年5月13日、北海道銀行(主催)は極東ロシアビジネスフォーラム2010を札幌市で開催しました。来場者数は586名(基調講演、セミナー参加者のべ1,480名)と道内企業中心にロシアに興味のある方々が参加され、予想以上の大盛況となりました。

サハリンをはじめハバロフスク、ウラジオストクなどから企業(9ブース、14社)が参加し、ブース出展及び個別商談も行われました。商談に関しては終了時刻間際まで来場者が絶えず、展示ブースで活発な商談あるいは情報交換が行われました。北海道銀行が事前に設定した商談のうち、29社、40商談が消化され、更には飛び込みの来場者による情報収集も見られました。

特に現在ロシアでは日本の建材販売がちょっとしたブームになっている関係もあり、ウラジオストクから来た建材販売業者であるゼニットーM社とサハリンの総合建設業者のスフェーラ社のところには道内建設関係者が入れ替わり立ち代り商談を希望され、ロシア側参加者の方がゆっくり昼食を食べられないほど商談スケジュールが組まれました。

ブース展示ではどの出展者の展示品も興味を引くものが多かったですが、「極東ロシア木材加工ブース」ではロシアで一般的に使用されているカバ、ナラ、アカマツなどの木材サンプルを展示し、来場者の目を最も引いておりました。また、旅行会社のブースではカムチャッカの大自然映像をDVDで流したり、ロシアの大自然の中の釣り風景をジオラマ風に展示したり、趣向を凝ったものもあり、来場者を楽しませる展示物も数多くありました。

また、美しいロシア人女性がロシア製チョコレート由来場者の方々にサービスとして配ってくれ、初めてのロシア製チョコレートを試食し、楽しまれた方もいらっしゃいました。

セミナー会場では朝10時より(株)JSN貿易部 濱野 剛様より同社の専門的なロシア貿易事情、ノウハウ、また極東ロシアにおける様々な日本商品のマーケティング結果を紹介し、ロシアビジネスを実際に行われている若しくはこれから本格的に実施を目指しているの方々にとっては大変具体的なアドバイス、指針を行っていただきました。

社団法人 ロシア NIS 貿易会 経済交流部 原 真澄様はロシア全体の概略から始まり、現在ロシアにおいて活躍されている日系企業のビジネス紹介と日系企業のロシアへのビジネス進出の展望を様々な支援機関の紹介と合わせてご説明いただきました。

(株)三井物産戦略研究所 会長 寺島 実郎氏をお呼びした基調講演では、ロシアにとどまらず世界経済を中心としたアメリカ、中国などの大国の動向、またアジア、ユーラシアなど経済圏の動向をGDPなど経済主要指標を的確に表示しながら全体的世界観をどのように俯瞰していくかを分かりやすくお教えいただきました。

最後にサハリン州政府経済発展省 カルペンコ大臣により、現在実行中のインフラ整備を中心とした「サハリン州政府2020年プロジェクト」計画が紹介されました。道路工事や住宅建設など土木建設関連(含む資材提供)のほか、石炭輸出などへの道内企業の参入チャンスは今後さらに広がる可能性を秘めています。

北海道銀行はロシアビジネス情報またはビジネスマッチングの機会を今後も様々な形で提供したいと思っております。